

田老岩泉道路 工事箇所一覧 (注: 構造物名称等は仮称です)

工事名	受注者(電話番号)	主な工事内容
① 向新田地区道路改良工事	小野新建設(株)(0193-87-5215)	切土, 盛土, 法面工, 函渠工, 田老北1ヶ所-こ道橋(下部工)
② 国道45号 摂待道路工事	大成・銭高・東コン特定建設工事 共同企業体 (0193-77-5127)	摂待第1トンネル, 摂待第2トンネル, 摂待大橋, 下摂待橋
③ 国道45号 小本道路工事	西松建設(株)(0194-28-3702)	岩泉南IC, 小本トンネル, 新小本大橋(下部工)
④ 新小本大橋上部工工事	㈱東京鐵骨橋梁(0194-32-3480)	新小本大橋・新小成橋(上部工)
⑤ 国道45号 岩泉地区道路工事	東亜建設工業㈱(0194-32-3080)	地盤改良, 盛土, 小本高架橋(下部工)

コンクリートの品質向上に、青森県内の土木関係者が見学に訪れました。

公共物である道路の橋やトンネルは、老朽化に伴う対策や更新が重要な課題となっており、より高性能の品質を要するコンクリート構造物の“長寿命化”の性能確保が求められています。

田老岩泉道路の新小本大橋(仮称)や新小本トンネル(仮称)では、この課題の研究を行っている戸工業大学の阿波教授にコンクリート工事現場の指導を頂いています。



阿波教授と現場担当職員等との意見交換の状況です。

8月24日に、青森県内で土木工事を担当している土木施工管理技士会上北支部の会員(32名)が、“より良いコンクリート構造物を作る”ために、同教授と共に前記のトンネルや橋梁工事現場を見学し研鑽を深めて行きました。



阿波教授による“コンクリートの長寿命化”の取組み事例の説明と質疑の状況です。



トンネルのコンクリート品質性能の確認と質疑の状況です。



三陸国道事務所では、復興事業の促進を図るため、国内初の「事業促進PPP(※)」を導入しています。事業促進PPPとは、官民がパートナーを組み、双方の技術・経験を活かしながら効率的なマネジメントを行うことにより事業の促進を図るものです。「田老普代工区だより」は、三陸沿岸道路の宮古市田老から普代村間を担当する事業促進PPPが、事業者と住民の皆様とのコミュニケーションツールとしてお届けします。

発行: 国土交通省 三陸国道事務所 三陸沿岸道路事業促進チーム 田老普代工区  
〒027-0029 宮古市藤の川4-1 国土交通省三陸国道事務所 東庁舎2-1  
TEL 0193-71-2010  
URL http://54.251.44.45/pphp/tohoku/taroufudai.html

※PPP: Public Private Partnership  
官民連携・公民協働の意

宮古市田老

岩泉町

田野畑村

普代村

安全パトロールで工事中の安全確保を図ります。

～宮古労働基準監督署長の安全講話を頂き、参加者全員で安全確保を誓いました。～

復興道路として建設事業を進めるにあたっては、工事現場の安全確保が最重要課題の一つです。田老岩泉道路では、三陸国道事務所宮古分会のメンバー(25名)により、岩泉龍泉洞インター付近で工事中の現場で「安全パトロール」を行いました。(8月20日)

このパトロールは“事故・災害ゼロ”を目標に、事業者側と施工者側とが一緒になって、現場に潜む危険要因を見つけ出し、それに対する改善検討を多角的な視点から現場の点検・検討を行うものです。



不安全な設備や行動等を点検確認しています。



パトロール前の打合せ状況  
(作業体制, 使用機械, 安全注意事項等の確認を行っています)



パトロール後の是正改善策の検討状況です

〈安全講話〉

宮古労働基準監督署の澤田署長から、安全講話を頂きました。(8月20日)



- ・宮古労基署管内の昨年度の事故発生状況は、過去20年間の中で最悪の状況
- ・危険の存在を感じ取る感性を磨く取組みが大事。
- ・不安全行動を見逃さず、お互いに注意しあう事。
- ・危険行為や設備の是正と、改善努力を継続的に行う。などの「危険の認識と対策の実行」を、労務・安全管理する立場の者が率先垂範することの重要性を改めて認識しました。



# 三陸沿岸道路 田老岩泉道路 工事状況

【平成27年8月現在】

②摂待道路工事 施工:大成・銭高・東コン 特定JV

④新小本大橋上部工工事 施工:(株)東京鐵骨橋梁

⑤岩泉地区道路工事 施工:東亜建設工業(株)



摂待第1トンネル(仮称)は両側から掘り進み、8月23日現在、南側の掘削は458m(北側712m)まで進みました。トンネル南坑口ではトンネル内面のコンクリート(覆工)を施工開始(10m)しています。



摂待第2トンネル(仮称)北側では、8月23日現在、トンネルの掘削は120mまで進みました。



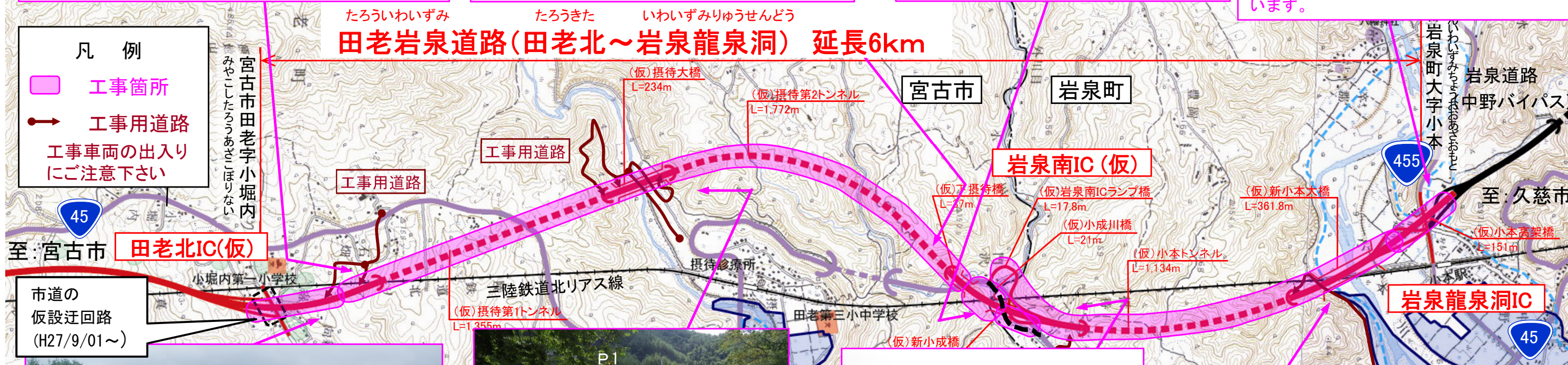
国道45号付替道路を跨ぐ新小成橋(仮称)(114m)の橋面(床版)工事を進めています。



岩泉龍泉洞インターチェンジの盛土工事の前に、深い軟弱な地盤の改良工事を行っています。

- 凡例
- 工事箇所
  - 工事用道路  
工事車両の出入りにご注意ください

## 田老岩泉道路(田老北～岩泉龍泉洞) 延長6km



市道小堀内・向新田線を仮設迂回路として9月1日に切替えし、その後に橋梁(下部工)の工事を進めます。写真奥には手前の切土工事も進み、摂待第1トンネル(仮称)南坑口も見えて来ました。

①向新田地区道路改良工事 施工:小野新建設(株)



摂待大橋(仮称)(長さ234m)を支える橋脚(P2)の基礎くい工事(直径10.5m)(深さ25m)が完成間近です。

②摂待道路工事 施工:大成・銭高・東コン 特定JV



新小本トンネル(仮称)は、トンネル貫通済みで8月23日現在、トンネル内面のコンクリート(覆工)の施工が南側450m(北側222m)まで進んでいます。

③小本道路工事 施工:西松建設(株)



三陸鉄道を跨ぐ新小本大橋(仮称)(361m)を支える土台(橋脚・橋台)工事が進んでいます。